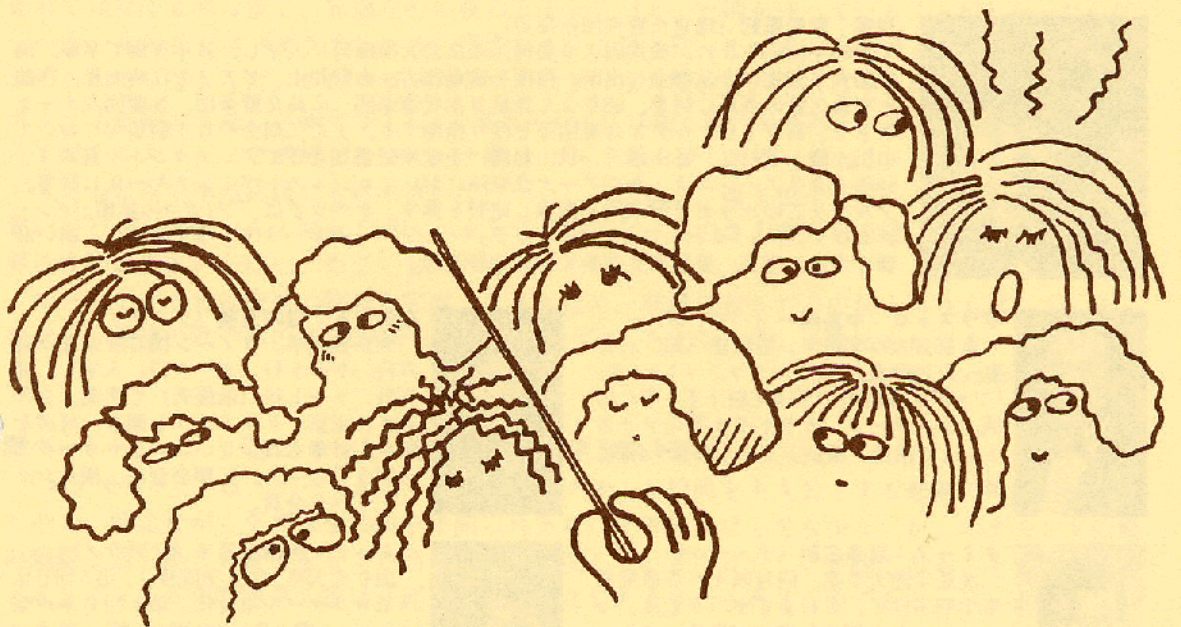


鎌倉交響楽団

'95ニューイヤーコンサート

指揮 宮松重紀

司会・ナレーション 永井邦子



日時 / 1月29日(日) 午後2時開演

会場 / 鎌倉芸術館

後援 / 鎌倉市教育委員会

プログラム

「軽騎兵」序曲

ス ッ ペ

歌劇「魔笛」から

モーツァルト

- ♪ 序曲
- ♪ 「俺は鳥刺さまだ」(パパゲーノ)
- ♪ 「何と美しい絵姿」(タミーノ)
- ♪ 「恋を感じる男たちには」(パミーナ・パパゲーノ)
- ♪ 「地獄の復讐がこの胸にたぎる」(夜の女王)
- ♪ 「この聖なる殿堂には」(ザラストロ)
- ♪ 「愛の喜びは露と消え」(パミーナ)
- ♪ 「愛しい人よ、もう会えないの」(パミーナ・タミーノ・ザラストロ)
- ♪ フィナーレより「パ・パ・パ」(パパゲーノ・パパゲーナ)

— 休 憩 —

インスタント・コンダクターのコーナー

「エグモント」序曲

ベートーヴェン

交響曲第5番「運命」

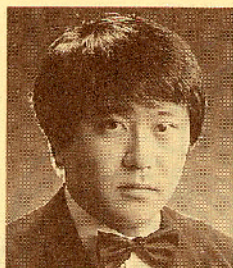
ベートーヴェン

出演者プロフィール



司会・ナレーション：永井邦子

武威野音大短大卒。NHK横浜放送局・ラジオ日本でアシスタント・キャスターを、また神奈川県フィルハーモニー・群馬交響楽団・鎌倉交響楽団などプロ・アマのオーケストラの司会、各種シンポジウムの司会を務めている。



指揮：宮松重紀（鎌倉交響楽団指揮者）

1963年横浜生まれ。横浜国大卒業後、東京芸大指揮科に入学し、91年首席で卒業。同年芸大卒業生紹介演奏会に出演。指揮を遠藤雅古、大野和士、ピアノを江崎光世、作曲を安藤久義の各氏に師事。88年より新星日本交響楽団、広島交響楽団、N響団友オーケストラ、新ヴァルディ合奏団等を度々指揮する。また二期会や日生劇場等において山田一雄、若杉弘、外山雄三、秋山和慶、手塚幸紀各氏の下でアシスタントを務める。89年イタリア・シエナ・キジアーナ音楽院においてロジェストヴェンスキー氏に師事。ブルガリアのルッセ交響楽団を指揮し絶賛を博す。オペラでは、「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「ヘンゼルとグレーテル」等を指揮し、高い評価を得る。現在、愛知県立芸術大学非常勤講師。



ザラストロ：中島陽一（バリトン）

東京芸大声楽科卒。笠松重三郎、石津憲一氏に師事。「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「安寿と厨子王」等に出演。カンタータ、オラトリオ等のソリストとして活躍。横浜シティ・オペラ会員。



夜の女王：福嶋直美（ソプラノ）

東京芸大卒。ウィーン国立音楽大学発声科、リート科、オペラ科に入学し、発声科、リート科（最優秀）で卒業。2年置きに東京でリサイタルを開き、好評を博す。日本で数少ないコロラトゥーラ・ソプラノの一人。二期会会員。横浜シティ・オペラ会員。



タミーノ：田嶋昭（テノール）

洗足学園大卒業。同付属オペラ研究所第1期生修了。これまでオペラでは、モーツァルトの作品を中心に出演、またコンサートでは、「第9」「レクイエム」等のソロを歌う。現在、横浜シティ・オペラ会員。



パミーナ：悦田比呂子（ソプラノ）

国立音大卒。同大学院修了。第5回日仏声楽コンクール第3位。第4回日本声楽コンクール第2位。'94プラシド・ドミンゴ世界オペラコンテスト日本ソプラノ部門に優勝し、ウィーンに派遣される。二期会会員。数多くのオペラ、コンサートの出演。横浜シティ・オペラ会員。



パパゲーノ：小栗純一（バリトン）

東京芸大卒。劇団四季研究生を経て現在、二期会会員、青の会会員、横浜シティ・オペラ会員。「メリー・ウィドウ」のダニロ、「こうもり」のファルケ役他、オペラ・オペレッタ・ミュージカル・コンサートで活躍中。フェリス学院大学、昭和芸術学院各講師。



パパゲーナ：吉田美保（ソプラノ）

東京音大オペラ科卒。同大研究科修了。NHK新人洋楽オーディション合格。東京文化推薦音楽会出演。関西日伊賞賞。第58回日本音楽コンクール入選。第2回日本声楽コンクール入選。第1回藤沢オペラコンクール奨励賞。93年東京国際コンクール入選。横浜シティ・オペラ会員。

曲目紹介

■スッペ 「軽騎兵」序曲

「軽騎兵」はウィーンの詩人カール・コスタの台本による愉快的な軍人生活を描いたオペレッタです。そもそも軽騎兵って誰？何？と思う方もいらっしゃるでしょう。それは、この曲を聞きながら色々想像してみてください。まず初めトランペットとホルンのファンファーレで始まり、続いて軽快な旋律に移り華やかに展開していきます。しかし、中間部に入ると、一転して静かになりヴァイオリンとチェロの暗い祈りにも似た旋律に変わっていくのです。そして終結部は、再び力強く歯切れのよい行進曲で結ばれます。まるで軽騎兵達が悲しみに心を痛めつつも軍人として生きていかねばならない運命（さだめ）のように終わります。何とも心はずむ行進曲と哀愁漂う中間部分との対比を十分お楽しみ下さい。（軽騎兵さん談）

■モーツァルト 歌劇「魔笛」

やあ皆さん、こんにちは。ジャーン!! *ff*の和音が3つ聴こえたら、物語の始まりだ。俺かい？俺は鳥刺しのパパゲーノ様だ！人生愉快に楽しくがモットーさ。だけど王子タミーノは俺と違って、まじめで一途な二枚目なんだ。彼は夜の女王の娘、パミーナの絵姿を見ただけで、あまりの美しさに一目ぼれ。女王様に「悪者にさらわれた娘を救っておくれ」と頼まれて、勇んでザラストロの城へ向かうんだ。その時与えられたのが、苦難から守ってくれる魔法の笛さ。俺も魔法の銀の鈴をもらって、王子のお供をするよう命令された。やれやれ！ザラストロの城では、王子様が迎えに来ると知ってパミーナ姫もどきどきわくわく。ところがなんと、ザラストロは本当は悪者ではなく立派な僧で、邪悪な心の夜の女王からパミーナ姫を守っていることがわかったんだ。一方、夜の女王は「ザラストロめ、復讐だ！」と怒り狂っている。あの声を聴けば、その激しさがわかるってもんだ。かたやザラストロが歌うのは人間の愛。やっぱり人格者だねえ。彼は、タミーノを鍛える為に試練を与えた。「無言の行」には俺も付合わされて、そりゃ辛かったよ。黙って耐えるタミーノを誤解したパミーナ姫は、「もう私を愛してないのね！」と大変な嘆きよう。でも2人は火や水の試練にも耐え抜いて、ついに結ばれる。俺も色々苦労したけど、最後には可愛いパパゲーナちゃんと楽しくデュエットする仲になったのさ！夜の女王達は追い払われて、世界は太陽の光でいっぱい。めでたしめでたし……。

モーツァルト君は俺達の物語を完成してまもなく、35歳の若さでこの世とおさらばしてしまったけど、俺達の歌や笛の音は200年以上たった今でも、みんなに楽しい魔法をかけるってわけなのさ。（鳥刺しパパゲーノ談）

■ベートーヴェン 「エグモント」序曲と交響曲第5番「運命」

「エグモント」とは、ゲーテが書いた実在のエグモント伯爵を主人公とする悲劇の為の付随音楽である。残念ながら今では全10曲中序曲以外を耳にする機会はとて少ないが、エグモント伯爵の剛毅な面と優しい愛情をもった面を上手く表現しているすばらしい序曲である。そして今日のメインでもある交響曲第5番は「運命」という名でもあまりにも有名な曲である。ベートーヴェンさんが「運命が扉を叩く音」と言ったとか言わないとかいう冒頭部分は、クラシックファンならずとも聴いたことがあるでしょう。それほど耳慣れた曲がどうしても人を感動させてしまうのでしょうか。それは、この曲がベートーヴェンさんの様々な人生体験を経て、過酷な運命に立ち向かっていこうとする決意の表われだからだと思います。そして、無駄をそぎ落とした精密で堅固な構成の中に「苦悩を通じての歓喜」というベートーヴェンさんが込めた言葉が浮んできます。（エグモント伯爵談）

- 鎌倉室内楽演奏会 3月18日(土) 午後6時30分開演 鎌倉芸術館小ホール 入場無料
□ 第65回定期演奏会 5月21日(日) 午後2時 開演 鎌倉芸術館大ホール 近日発売
指揮 占谷誠一 スメタナ交響詩「わが祖国」より「モルダウ」、ドボルザーク交響曲第7番他

西洋菓子

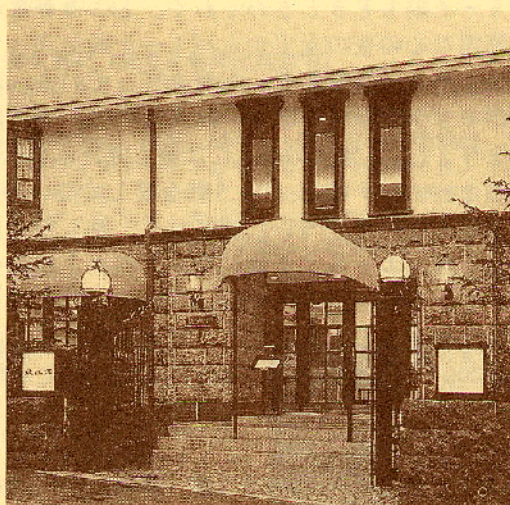
心をこめた手づくり菓子、歐林洞西洋菓子コーナー。
日々のお菓子、贈答菓子もご用意いたしております。

デザート茶房

デザート菓子と紅茶、香り高いコーヒーでやさしい
ひと時をお過ごしいただくティー・サロン。
季節の料理菓子（デリカ）もご用意いたしました。

欧林洞サロン

趣味の会、記念会、おさらい会、ご結婚披露パーティー、ご法事
等のお集まりにご利用いただいております。
欧林洞主催の定期サロン音楽会、小さな鎌倉音楽祭の催し会場に
もなっております。



鎌倉 歐林洞

営業時間 10:00am - 7:00pm (月曜日・定休)
(駐車場10台可)

神奈川県鎌倉市雪ノ下2-12-18

TEL 0467-23-8838

県立近代美術館別館右前